

## < 新会長挨拶 >

「楽しく交流・活動で、クラブの活性化を！」

会長 藤井久子

今期、2度目の会長をお引き受けすることになりました。よろしくご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

ワイズメンズクラブは、アメリカのトレド市のYMCAに、YMCAに奉仕する成人会員の昼食を取りながら親睦をはかり、人との交流から成長し社会に還元しようとしてできたものです。このことから、メンバーとして大切なことは、人との出会いを通して成長し、自分自身を磨いていくことだと思います。

6月末で阪本伸彦メンが退会されました。クラブの将来のためにもメンバー増強が必要です。そのためにも他のクラブに学び、新たな交友を開発し、自分に足りないものを心の糧にしていけるようにしたいと思います。会長の任期の1年、出会いと親睦を大切に、仲良く活動していきたいと思っています。

活動方針として、

- (1) 楽しい例会になるようにする。
- (2) YMCA と協働を計る。・・・ワイワイまつり、チャリティーラン、国際交流募金等
- (3) 他のクラブや兄弟クラブとの交流を計る。・・・六甲部内、台湾高雄ポートクラブ、東京武蔵野多摩クラブとの交流
- (4) 会員増強を計る。・・・メンバー候補に卓話を依頼したり、例会に参加を呼び掛けたりする。
- (5) ゆとり作業所を支援する。

今期中に神戸YMCAの新しい会館が完成します。YMCAと共に私たちも成長できるようにしていきたいと思っています。メンバーの皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

### 今年度のEMC事業主査に任命されて 六甲部 EMC 主査 野呂 隆

新年度を迎え、各クラブは新しい活動が始まりますが、私は今年度のEMC事業主査に任命されました。

わがクラブを始め、六甲部の皆様のご協力を得て会員の増大に努め、ワイズの活性化を図っていきたくと考えております。よろしく願い申し上げます。

活動を始めるにあたってまず主題とか、活動方針が



大切と思いますが、私は 次のように決めました。

1. 主題「EMCはワイズの柱。仲間を増やし、クラブの活動を一層盛り上げよう！」

ワイズの活動を活発にし、有意義なものとするために、まず仲間を増やさなければなりません。「量は質の向上に繋がる」と言われますが、ワイズの活動の源泉も正に会員増強にあると思います。

2. 活動方針

1. ワイズメンズクラブの知名度を高めよう。

自分たちの地域で、ワイズメンズクラブって何？という人が意外に多いのではないのでしょうか。ワイズの名前をまず浸透させたいです。

2. 定例会やイベントでは、クラブの活動を積極的にPRしよう。

リーフレット、ワイズののぼり旗などを活用し、イベントなどでワイズの活動を積極的にPRしましょう。

3. 各クラブの実情に合ったEMC活動の推進。

各クラブの地域事情はそれぞれ違い、学園都市周辺は平成になってニュータウンとして開発された地域で、まずワイズの存在や活動状況を知っていただくことが必要だと思います。

4. 六甲部会、YYフォーラム等のイベントに、積極的に参加しよう。

各会員が六甲部のイベントに積極的に参加し、ワイズの活動の醍醐味や、楽しさを体感していただきたいです。そこからEMCの活動は始まると確信しております。

高齢化とか、若者の内向き志向とかで、ボランティア活動は敬遠されがちとも言われますが、一方で奉仕活動に貢献して、社会との繋がりを生きたいと希望する人も、多いように聞いております。そういう人たちを仲間に入れて一緒に活動していけたら、素晴らしいことだと思います。各クラブで仲間が増えることを期待致しております。

## < 6月第1例会報告 >

副会長 佐伯一丸

・日時：2016年6月16日（木）

19：00～21：00

・場所：西神戸YMCA

・出席者：佐伯、杉本、舘、田辺、丹家、中村、西田、野呂、檜木、藤井、(メネット) 佐伯、杉本、宗利



## 1. 開会式

- (1)開会点鐘、ワイズソング斉唱、今月の聖書朗読、
- (2)ゲスト紹介：間 勝也氏、松田康之氏、横山氏
- (3)6月お誕生者お祝い：合田洋子メネット(6/19)、丹家裕子メネット(6/7)

## 2. ゲスト講演：「熊本地震復興支援 派遣活動報告」

間 勝也氏（ウエルネスセンター学園都市副所長）、松田康之氏（神戸学園都市YMCA こども園園長）のお二人から、その時の現地の状況をお話し頂いた。現地滞在期間は、間氏(5/23~28)、松田氏(4/23~29,6/1~5)

飛行機から熊本を見るとブルーが一面に見られ、きれいな景色に見えたが、近づくにつれてブルーシートであることが分かり、現実とは大違い。更に土砂崩れの場所もあちこちで多数見られた。

阿蘇 YMCA ボランティアセンターを拠点にして支援活動を行った。初めは倒壊した家の瓦礫、塀の瓦礫などの撤去が主な仕事。

その中、自治体の職員の数もたりないため、避難所の運営を依頼される。と言っても自分たちで好きなように動こうとする人も出てくる始末。避難民の収容場所、受け入れ物資の仕分け・保管場所などの確保に一苦労。

避難民の収容場所も、間仕切りを付けると良いこともあるが、逆に他の人との交流がなくなる人も現れ、一日に1度は、入り口を開け、風通しを良くする工夫も必要だ。

自治体の職員も過労でくたくた。どこかで息抜きの機会を作らないと、病気になるだけでなく、過労死の可能性さえある。YMCA の職員は1週間交代で対応しているため、それほど問題はないが。

## 3. 報告事項

- (1)「熊本地震緊急支援金」は6月4日、神戸YMCAに6万円の振り込み手続き済。
- (2) 第19回チャリティーラン第1回実行委員会、6/17(金) 19:00~21:00、神戸YMCA 神戸カレッジ教室、議題：今年度チャリティーランの方針・計画、役割分担ほか、出席予定：中村
- (3)「第17回ワイワイまつり」実行委員会(報告) 6/7(火) 19:00~20:30、出席者：杉本 役割分担、収益金の配分、ワイズは餅つきを決定
- (4) 第3回評議会開催 6/18(土) 16:00~18:00

場所：神戸YMCA ユースプラザ KOBE・EA 御影クラッセ4F

議案：次々期(2017~2018)六甲部部长選任  
出席登録：佐伯、杉本、田辺、中村、野呂、檜木

## 4. 新旧会長交代式

現会長より退任挨拶、1年間の活動報告、各役員・事業委員の活動報告、ピンバッチ交換、次期会長よりの就任挨拶・年間事業計画発表があった。



## 5. 神戸YMCA 高等学院の案内

横山スタッフより「高等学院の案内と進路・高校について考える講演会」の案内があった。

### <六甲部 15/16 年度第3回評議会報告>

副会長 佐伯一丸

次々期(17/18)部長選出に当たり、輪番制の順番である神戸西クラブ及びさんだクラブ共に会員数減少に伴い、部長を受諾できない旨の要望が出された。

これまで部長の選出は部則では輪番制になっており、この輪番制を先送りする場合の部則の改定が必要となった。

従って、本評議会は、部則の改定と次々期部長を選出することが、目的であった。

- (1) 第1号議案「部長の輪番制の附則改定の件」

「部長ならびに事業主任の輪番制は、原則として次の順番で受け継ぐこととする。なお、立候補の場合、役員会に諮り決定する。事情により輪番が受けられない場合は、評議会にて承認を得て先送りすることを認める。但し、1年後には輪番を受けることができるように体制を見直すこととし、翌年には先送りした輪番に戻る。(先送りして輪番を受けたクラブは、その順は輪番を担ったこととなる。)」

(2) 第2号議案「さんだクラブ以降の輪番クラブの次期部長受諾の件」(附則改訂)「輪番を受けられない場合は、その理由を説明して議案1の決議に従い決議を行う。」

第1号議案、第2号議案共に承認された。

ここでさんだクラブが受諾できない理由を説明し、承認された。(神戸西クラブは既に説明済。)

続いて、輪番制により学園都市クラブが次次期部長を受諾することの要請があった。

神戸学園都市クラブ野呂会長がこれまでの経緯を説明した上で、次次期部長受諾を表明した。同時に杉本隆人氏の選出を発表し、本件は満場賛成で承認された。

杉本氏は「六甲部各クラブの協力を得て、今後の六甲部の発展に全力を尽くしたい」と力強く挨拶された。

## < 今月の聖句 >

### あなたがたも人にしなさい

(マタイ 7-12)

これは、イエスが語られる「隣人愛」を表した言葉です。

儒教の教えにも似たような言葉があり、日本でもよく知られていますね。

「己の欲せざる所、人に施すなかれ」

つまり、「自分がしてほしいことは、他人にもするな」ということですが、これも隣人愛の一つです。

日本ではよく、「人に迷惑をかけないように」と言われます。

これはとても大切なことだと思います。

たとえば、バスや電車の公共の場で自分勝手な行動をしていては、当然のことながら、他の人に迷惑をかけます。

これは親も教師も子どもにしっかり教えるべきマナーなので、

「バスや電車で騒がないように、人に迷惑がかかるからね」

と、わたしたちもこれまで繰り返し、学校で子どもたちに言ってきました。

けれども、「～しない」という控えめな態度も大切ですが、それだけではなんとなく物足りないような、寂しいような気がします。

もう一步踏み込んで、「自分がしてほしいことを他人にもしてあげる」という積極的なふれあいこそ、温かな人間らしさを感じます。

たとえば、バスや電車に乗ったときは、

「お年寄りの方がいらっしゃったら、席をゆずってさしあげなさい」

と、子どもに言うだけでなく、自ら進んでそうしてみる。

そういう行いも、この言葉にこめられた隣人愛ではないでしょうか。

～教養として知っておきたい聖書の名句(中井俊巳、グラフ社)より～